

子宮頸がんのなりたちと予防



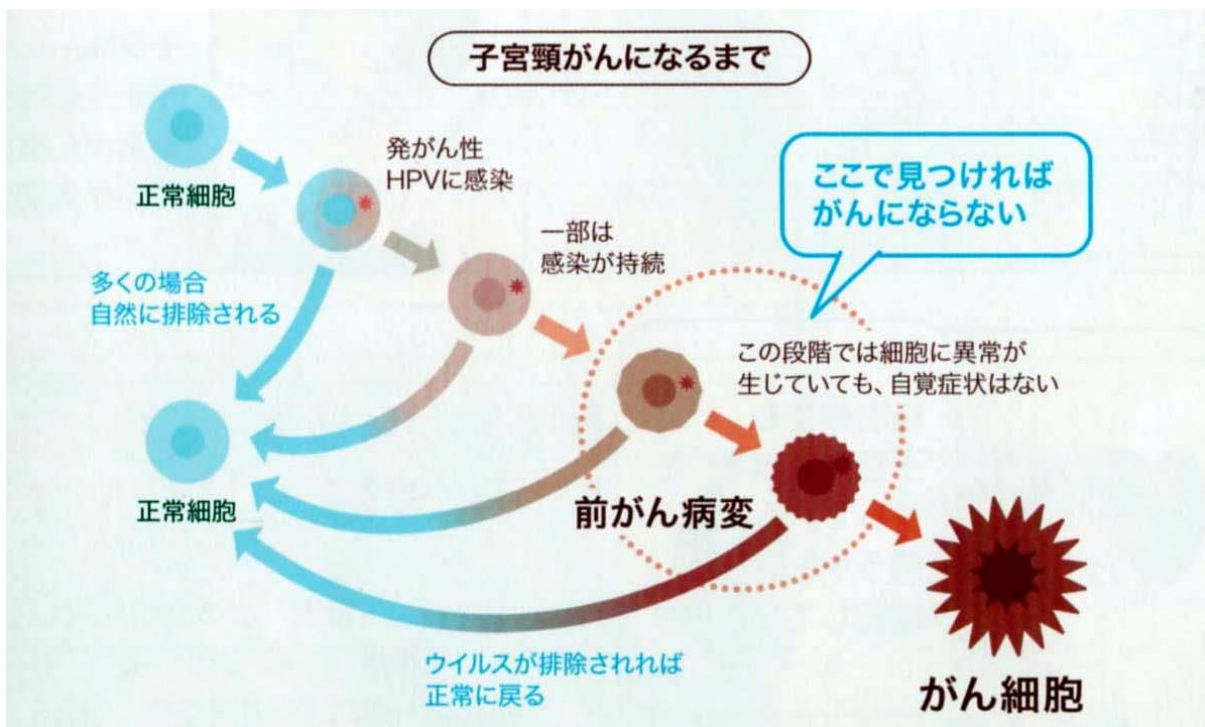
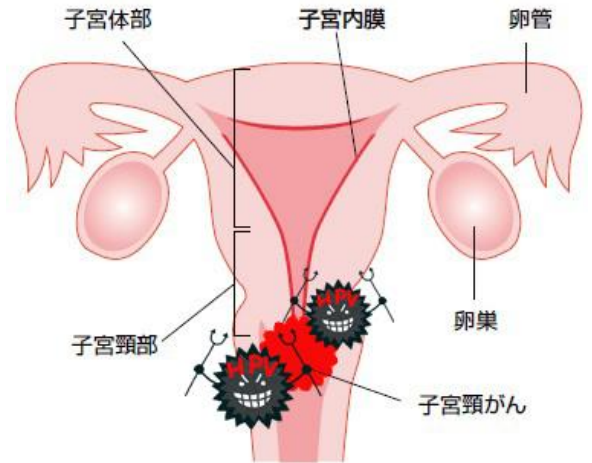
子宮頸がんとは HPV 関連がん

子宮頸がんは HPV 感染によって発生します

HPV は健康な女性の 80% 程度は生涯に感染しますが、ほとんどは自然に治癒するので明らかな子宮頸がん（浸潤がん）になるには 5-10 年以上の時間がかかるうえ、その頻度も 1000 人に 1 人以下です。しかし日本では現在毎年約一万人の女性が子宮頸がん（浸潤がん）に罹患し、約三千人の女性の命が奪われています。

子宮頸がんは「マザーキラー」ともいわれ、若いお母さんに進行したがんが発症した場合、幼いお子さんを残して亡くなられていくことがあります。

しかし、現在は予防効果の高い HPV 予防ワクチン（一次予防）がありワクチンをより多くの方に接種していただくことと、さらに定期検診（二次予防）を組み合わせることによって二重の予防ができます。

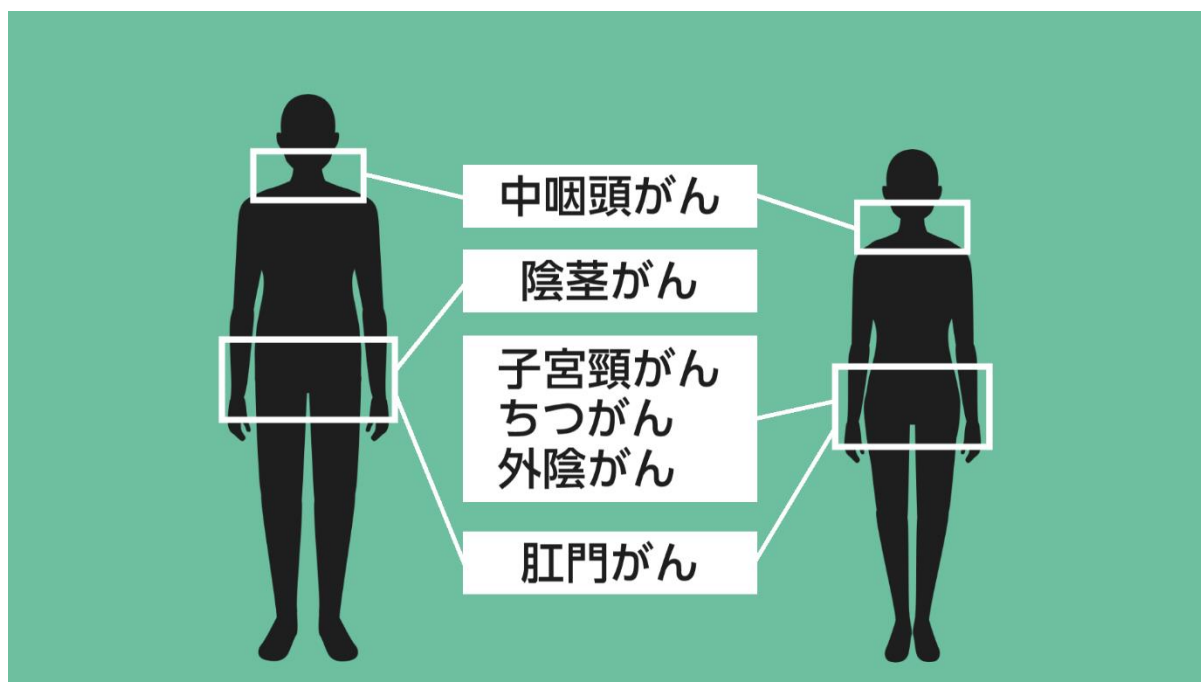


世界保健機関（WHO）は、子宮頸がんの撲滅に向けて、次のような目標を掲げています。

- ・ 15 歳までに 90% の女性が HPV ワクチンを接種する
- ・ 70% の女性が子宮頸がん検診を受ける
- ・ 子宮頸部病変を有する女性の 90% が適切にケアされる

この目標を達成することで子宮頸がんは今世紀のうちに世界からなくなると WHO は宣言しています。

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染によって発生する子宮頸がん以外のがん



ヒトパピローマウイルス（HPV）は子宮頸がん以外に上図のようながん（HPV 関連がん）の原因になります。中咽頭がんや陰茎がん、肛門がんなどは男性にも発生するので、女性だけではなく男性にも HPV ワクチンの無料接種を行う国が増えています。

HPVワクチンの接種状況

The collage includes a CDC poster titled "HPV vaccine" with the text "For more information call 13 11 20" and navigation tabs for "Parents", "Teens", "Schools", "Health professionals", and "The HPV vaccine program". Below the poster is a photo of a group of boys. Text overlays include: "オーストラリアでは男児も国の無料接種対象" (In Australia, boys are also eligible for free national vaccination), "米・英などでも男児への接種を推奨" (In the US, UK, etc., vaccination for boys is recommended), and "多くの先進国では男児への接種も拡大" (In many advanced countries, vaccination for boys is also expanding).

現時点で男性は公費定期接種の対象ではありませんが、自費接種は日本でも可能です（1回 2-3万円、3回接種）。